



嘉島町議会
第13号

平成26年11月14日



議会だより



郷の秋（北甘木地内）

9月定例会

目次

9月定例会・平成25年度決算状況	2
全員協議会・人権研修会	3
町政のここが聞きたい一般質問(5名)	4～6
追跡	6
常任委員会研修レポート	7
広報委員会・監査委員全国大会研修	8
熊本中央広域事務協議会研修報告	9
一部事務組合議会報告	10
議会活動報告・議員報酬・政務活動費	11
「声」	12

平成26年 第3回

9月定例会

9月5日～9月9日

報告ほか、条例改正、議決事件、補正予算、決算認定など
19議案が提案され原案どおり可決・認定しました。

報告

- 平成25年度決算に基づく健全化判断比率の報告について
- 平成25年度決算に基づく資金不足比率の報告について
- 平成25年度嘉島町一般会計継続費精算報告書について

議案審議

可決された議案

- 専決処分の報告並びに承認を求めることについて
専議第3号 平成26年度嘉島町一般会計補正予算(第2号)
- 嘉島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- 嘉島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 嘉島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

- 嘉島町簡易水道事業設置に関する条例の制定について
- 嘉島町簡易水道給水条例の制定について
- 嘉島町道の路線番号の変更について
- 平成26年度嘉島町一般会計補正予算(第3号)
- 平成26年度嘉島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 平成26年度嘉島町住宅新築資金等貸付特別会計補正予算(第1号)
- 平成26年度嘉島町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 平成26年度嘉島町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成26年度嘉島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

認定議案

認定された議案

- 平成25年度嘉島町一般会計歳入歳出決算
- 平成25年度嘉島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度嘉島町住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度嘉島町介護保険特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度嘉島町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度嘉島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算



平成25年度決算状況 (一般会計・特別会計)

単位：円

会計名		歳入総額	歳出総額	歳入・歳出差引残額
一般会計		5,881,972,702	5,426,631,248	455,341,454
特別会計	国民健康保険	1,116,742,832	1,007,953,830	108,789,002
	住宅新築資金等貸付	503,294	280,000	223,294
	介護保険	680,190,897	622,201,982	57,988,915
	公共下水道事業	725,170,864	654,748,062	70,422,802
	後期高齢者医療	103,130,421	101,680,042	1,450,379

一般質問は、 対面式で議会活性化を図ろう

全員協議会開かる

町議会では去る9月9日定例議会閉会后、全議員が出席し先ず「議会だより第13号」記載内容について協議され、特に現今のTV放映等で論議話題となっている、地方議員による政務活動費の使途不明が問題となっていることを受けて、政務活動費とは、また政務活動費を出している地方議会はどのような議会なのかの実態を町民へ知ってもらう事も必要だとの意見を受けて、別記載で地方議会議員の報酬や政務活動費について掲載することに決まりました。次に議会活性化の一環として、議場の形態変更について協議され、現状では一般質問時、当議員は執行部側に設置の演壇に上り執行部側に背を向けていること、また自らが議員席に向って質疑を行っている現状である。全国町村議会では930町村の内723町村が対面式であり、また、県内31町村中すでに27町村が対面式になっていること、郡内5町では当議会を

除き4町議会は議場の型を変え、一般質問席を設け、執行部と対面しての一般質問が実施されています。従って本町も現状の方式かそれとも対面式にするのか協議の結果全会一致で対面式で行うよう対面式議席を設けることに決まりました。次に町内で発生した民家火災で被災者への見舞金取扱いについて協議され、議員一同として火災見舞を行うとの意見の一致を見ましたが、嘉島町で発生した火災等への見舞金行為は、公職選挙法違反に該当し禁止と判明。議会、議員一同共に被災者への見舞金はしないことになりました。なお関係機関の町や区長会また婦人会でも各々協議はされていますが、各々の実情に応じた対応かと思えます。お互いの身になって考慮し助け合わなければならぬと思えますが、個々に強制は出来ないの各々が考えての行動が必要だと思えます。以上全員協議会で諮られたことの報告といたします。

みんなで語ろう 差別解消を

去る9月9日、午後2時より、木田議長を始め全議員出席し、議員自らが率先して、部落差別問題をはじめ様々な人権諸課題の解消のため、人権研修会が開催されました。

本年は講師に元本町職員の上昭六氏を招き、「どう生きるか」

を演題に講演をいただきましたが、自らが被差別部落に生まれ育ったことにより、我が身に受けなくてはならなかった様々の差別感をあじわった実情を、つつみかくさず私達議員に語り話すことによって、「被差別部落に生まれ育ったが故の心痛を理解してほしい」との心情とまた差別を受けるつらさ等「我が身におきかえて痛みを実感してこそ」皆さん自らが率先して差別解消のために尽力しなくてはならないと思えます。同和問題を始めとする様々な差別解消のためには「見ざる云わざる聞かざる」ではいけない。差別の現状

を知り地道でも確実に解消に努力していかなばなりません。今後とも皆さんとともに差別のない明るい社会づくりのためにがんばりましょうと結ばれて、全議員人権研修会を終りました。



役場3階中会議室

富山 勝 議員



問 次期町政に対する町長の決意について

荒木町長におかれましては、これまでの功績はもちろんです。中でも、財政力指数の県下トップクラス維持、社会基盤の整備や地域福祉の充実、都市計画整備、農業振興、学校教育等、町政振興のための取り組み、又、最近では特に地域の開発で東部台地の開発、企業誘致など様々な取り組みに着手されております。27年2月には町長の任期が満了します。次期町政に対して町長の決意と抱負をお聴かせ下さい。

答 町長

私はこれまで議員の皆様方、町民の皆さん方に



支えられ町政運営を務めさせて頂きました。特に、町の長年の懸案事項でありました河川改修、水害常襲地帯からの脱却ということが先輩方から引継ぎ、そして多くの町民の皆さん方の願いをまず叶えなければならぬと取り組んでまいりました。町民そして町あげての取り組みによりまして平成十一年に内水対策も含めて加勢川の河川改修が既成をしたところでございます。そういう時期に合わせて区画整理事業等取り組んでまいりました。新たな住民の皆さん方も嘉島町に住んでいただくようになりまして。ビール工場、大型商業施設、あるいは卸売団地等々多くの企業にも進出をして頂きました。雇用の場が開けたというふうにも思っております。またそういう成果といたしまして、

ちょうど昭和30年の合併当時9,010名の人口が昭和60年代には7,200人台まで減少いたしましたけれども、現時点におきましては9,103名の人口になりました。これも定住促進、そしてまた企業誘致の成果だろうと思っております。今後10年間の町づくりの指針と致しまして、「活力と潤いに満ちた田園文化都市、住んでよかった水の郷嘉島」を基本理念として、その町づくりに取り組んでいるところでございますが、まず農業の振興を図る。定住促進のための東部台地の区画整理事業をはじめ各行政区の地区計画を策定して開発を推進する。あるいは企業の誘致を図る。子育て支援センター整備を始めとした子育て環境を充実する。安全安心のまちづくり、そして住んでよかった水の郷嘉島を実現し嘉島町の発展のために町民の皆さん方のご理解とお力添えをいただき、引き続き町政を担当させていただきます、よろしく思っております、よろしくお願い致します。

鍋田 平 議員



問 学校給食センターは開設から36年経過しているが衛生環境は問題ないか

答 学校教育課長

年数は経過してはいますが、国が示している衛生基準に完全とは言えませんが、できる範囲で対応しています。空調設備がないため窓を開けて網戸で対応していますが、調理場と配送室の仕切りはエアーカーテンにしてあり、細心の注意を払い、できる範囲の環境改善に務めます。また、調理員が適切な環境の中で調理することが望ましいと認識しておりますが、現状の施設構造では難しいため、できる範囲で環境改善に努めます。また、開設当時はウエット方式を

問

学校給食センター

答

学校教育課長

問

嘉島幼稚園は今年から連絡ノートは園と連絡が必要なの保護者が各自で用意するなど、園と生命線である連絡ノートが廃止方向に後退するのを大変心配している。

問

役場西側にある障がい者用駐車場の正面玄関近くに移動してほしい

答

総務課長

採用していましたが、現在はドライ方式が主流のため備品等ドライ対応型を整備しながら対応しています。設備は老朽化していますが、町民会館や総合運動公園など大型施設を整備したことにご理解をいただき、今後計画的に進めたいと思っております。

正面玄関には駐車場と庁舎の間に車道があり、利用者の安全を考えた上、現在の場所かと判断しています。しかし、庁舎までの距離や利便性の向上を考慮したとき現在の場所以外を利用者の意見等を参考に検討する必要がありますかと考えます。

答

学校教育課長

問

正面玄関近くに障がい者用駐車場の移動してほしい

答

総務課長

宮本 睦生 議員



問 町内の街灯(防犯灯)修理・計画・管理体制について

答 総務課長

防犯灯の修理・特に電球が切れた場合は、町がその都度支給しています。(電気代は各区の負担)
本年度は、上島区から要望を受けて、新たに一カ所設置しました。新設希望であれば、区長さんを通じて、町に申請してください。

街灯(防犯灯)は、主要な通学路を基本に町で設置及び管理しています。それ以外は、生活道路ということ、各行政区の要望を受けて町で設置し、管理は地元行政区にお願いしています。



また、住民の方が直接役場に来られた場合には、状況を確認し、区長さんと協議した上で、設置の有無の判断することとしています。

問 水の郷祭りの花火大会が中止となつたが、順延できないか

答 企画情報課長

今年は台風の接近により、まつりの安全な運営に支障があるとの判断から中止しました。

今回、町民の方々から花火の延期についての要望が多かったことから、来年度からはあらかじめ予定日を設定し、花火だけでも延期して実施する方向で「かしま水の郷まつり実行委員会」の委員さんと協議・検討したい。

寄付金は、協賛いただきましたすべての企業など全36団体へ全額返納しました。

河原 泉 議員



問 東部台地開発地権者の土地台帳整備は

答 建設課長

換地設計、仮換地指定の前に土地台帳の整備が必要と思うがまだ相統登記が出来てない土地や売買による所有権移転登記がなされてない土地等の整理は進んでいるのか。

現在は平成26年6月に取得した法務局備え付けの要約書にて、事業区域内全ての地権者情報の更新を行いました。1186筆のうち未相続土地は255筆と数多く残っております。これらの土地については昨年度から各自治体への戸籍照会を繰

り返して法定相続人の追跡調査を行っており、134筆については法定相続人の把握ができたところですが、調査の限界でどうしても把握できない部分は地元の方々や隣接者の方々へのヒアリングを継続して可能な限り相続人代表と思われる方を把握して、仮換地の説明や仮換地指定を行って行く予定です。追跡調査は今年度中には目途をつけたいと思います。ただし、法定相続人が多数に及ぶケースもあり事業の事務手続きが煩雑になるため、未相続の土地は積極的に相続登記をしていたり、個人間の売買などが行われている土地で所有権移転登記がなされていないケースについては、事業の施行者である町が介入して登記簿情報を変更するのは制度上不可能であるため、あくまで本人さん同士での話し合いにより所有権移転登記が必要となります。事業のスムーズな進行のため地権者の皆様方のご理解とご協力を今後ともお願いし

問 国保特別会計現状と今後の運営は

答 町民課長

本町の1人当たりの医療費は県下でも上位に位置しており、厳しい財政運営になると思われるが今後どのようにお考えなのか、また過去3年間の単年度収支額、および基金積立額の推移について伺いたい。

過去3年間の単年度収支額につきましては、
(平成23年度) 3236万2386円 赤字
(平成24年度) 6455万7376円 赤字
(平成25年度) 311万1414円の赤字でございます。その赤字を埋めるために基金繰入を行っており、基金積

立額の残高の推移につきましては
(平成23年度) 1億9561万9230円
(平成24年度) 1億3976万9968円 (平成25年度) 8072万4495円
と減少しています。

加入者の高齢化と医療の高度化により、医療費は年々増加し、一方保険税収入は、減少傾向にあり、健全な国保の運営を維持することが困難になりつつあります。

国保財政健全化の取り組みとして、27年度からの税率改正は避けられない状況であり、現在1人当たりの保険税額への税率改正の影響を試算する等検討を国保運営協議会にお願しているところです。また、歳出面の取り組みとして、特定健診未受診者対策や健診結果を基にした生活習慣病予防のため保健指導に力をいれており、増加を続けていた1人あたり医療費は、平成25年度実績で前年度を下回りました。

今後も医療費適正化と税収確保に努めていきます。

津出悦男 議員



問 授業時間数確保のため「土曜授業」の取り組みは

答 教育長

標準授業時間数は、新教育課程の全面实施により、増加しています。夏休みの短縮と学校行事の見直しにより、各学校、標準授業時数をクリアしています。

土曜授業については、中央教育審議会答申で、地域や保護者に開かれた学校づくりの観点から示されており、授業時間数の不足を補うために「土曜授業」を実施している自治体は少ないようです。本町の各学校では、現在土曜日などにゲストティーチャーの協力を得ての授業、体験活動、公開を前提とした授業や学

問 全国学力テスト結果公表は

答 教育長

習発表会などが実施され、開かれた学校づくりへの取り組みが行われています。これらのことから、「土曜授業」については、文部科学省、県の動向を見ながら、協議していくことが必要であると考えています。

全国学力、学習状況調査は、都道府県や市町村の教育委員会による学校名を明らかにした結果公表が出来ることになりました。嘉島町教育委員会においては、テストは学力の特定の一部を測るということ。数値が独り歩きし、学校間の序列意識や過度の競争につながる懸念があること、非常に人数が少ない学校があること。その時の小学6年生、中学3年生の調査結果が「その学校の学力」ととらえられてしまったりすること。これらのことが子どもたちの心を与える影響も心配されるこ

問 「消防団協力事業所」への優遇措置の対応は

答 総務課長

おたずねの企業などの「消防協力事業所」への優遇措置については、嘉島町においては、特段の取り組みはしておりません。

嘉島町消防団員の現状ですが、本年4月現在の団員数は364名であり、平成17年の357名に比べて7名の増となっております。ただ、若い年齢層の入団は減少傾向にあり、団員の平均年齢は高くなってきております。また被雇用者団員（会社勤めの団員）の比率が増加しております。昼間は、近隣の市や町に仕事で勤務して、昼間の火災などの発生時に、緊急に現場に駆け付けられることが難しい団員も増えております。

くりのためにも、消防団の更なる充実、強化は必要と考えております。将来的には、団員減少の場合の対策として、例えば消防団員を引退した方がその豊富な経験を生かして、体力の問題や仕事の都合で訓練などに参加できなくなっても、無理のない範囲で活動できるなどの「機別別団員制度」の導入等を検討する必要があります。と考えております。

答 弁へのコメント

「被雇用者団員」の増加が懸念される中、消防団活動を始め、火災等緊急事態にも仕事に心配することなく、出動できるような、企業や事業所への町より協力要請書を出してあるとのことだが、今後とも特段の配慮をお願いしたい。

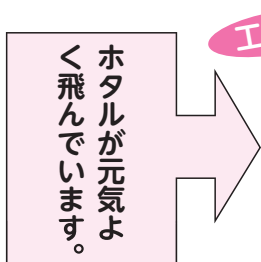


追跡 議員の質問に対し、『検討します』などの答弁がありました…が!! そのあとのどうなっているの?を広報委員で追跡してみました。

一般質問	ホテルの環境整備について! (平成 24 年 6 月議会 質問者 河原 泉 議員) ホテルが生まれ、飛んでいる所は井寺の榎山 (はげやま) の下と思われます。もっと多くのホテルが育成させるため、専門家の意見などを聞き対応してもらいたい。
回答	人工的な環境整備は非常に難しく、現状の環境を壊さないのが現時点での手だてではないかと考えています。行政としても支援できる部分はやっていきたいと考えています。
そして	自然環境に配慮し、工事をしました。(建設課)



井寺地区はげやま



ホテルが元氣よく飛んでいます。



整備された現地 (5月~6月ホテル飛来)

国保特別会計の取り組み・障がい者における総合的支援を学ぶ

経済厚生常任委員会 研修者（委員長）木下 徹（副委員長）富山 勝（委員）岡 牧生（委員）河原 泉
研修日 平成26年7月23日～24日

1日目 7月23日 研修先 大阪府 寝屋川市役所

※研修内容 国保特別会計の現状と取り組みについて

現状は累積赤字を一般会計からの繰入により解消し、現時点の決算は黒字に転向した。取り組み ①歳出の抑制（医療の適正化、健康づくり）②歳入の確保（収納率の向上）現状は、寝屋川市でも赤字財政運営からの脱却に苦慮しており一人当たりの医療費の抑制に取り組んでおられます。

2日目 7月24日 研修先 大阪発達総合療育センター

※研修内容 障がい者における総合的支援について

当施設は創設以来肢体不自由児に対する「(1)施設収容よりも在宅療養 (2)脳性麻痺に対する積極的な医療 (3)脳性麻痺の療育は0歳から」という先進的な基本理念を基に日本に初めて「ボバース理論」を紹介し、それを基礎においた積極的な医療療育と創設当初から障害児歯科を設置し診療を行っている。



寝屋川市役所

2日間の有意義な研修視察ができ、知識を深めることができました。今後本町の行政に活かして行きたいと思えます。

三原市本郷都市計画土地地区画整理事業の取組を学ぶ

建設常任委員会 研修者（委員長）住田 守（副委員長）鍋田 平（委員）本田 金男

三原市の土地地区画整理事業は三原市が施行者となり、平成12年3月から平成36年3月までの24年間を要する事業として進められていました。

土地の利用計画は、周辺の居住環境を悪化させない、緑豊かな一戸建ての住宅ゾーンで良好な居住環境を創出する計画が進められ、人口計画は約3800人と嘉島町の東部台地土地地区画整理事業とほぼ同人口の計画がされ、また、公園・緑地は街区公園として地区内に7箇所整備して、上下水道を整備した活力のある魅力的な街となるように計画的に事業が進められていました。

三原市の課題としては、仮換地・保留地の分筆・分譲・上下水道・自治会の立ち上げ等問題は山積していましたので、事前に地権者へ十分な説明を行い理解していただいて、事業を進めて行くことの重要性を学びました。

嘉島町も事前に地権者等の皆さまへ十分な説明とご理解とご協力をいただいて、自然と調和した環境を整備した魅力あるまちづくりが東部台地の発展に繋がることを強く感じた研修でした。



三原市役所



東本通区画整理事業

一人前の議会広報めざして 先進地視察研修報告

議会広報委員長 津出 悦男



庁舎内

町議会広報特別委員会の津出委員長外 5 名は去る 8 月 6 日、本庁舎会議室において講師に本田禎治氏（町広報担当）をお招きし、議会広報の基本的な誌面づくりについて自主研修（勉強会）を開催した。

特に「議会だより」を町民の皆様はどう工夫すれば読みやすく、また読んでもらえるかを講義されました。記事の基本は 5W2H = (Who だれが)、(When いつ)、(Where どこで)、(What 何を)、(How どうした (どのように))、(Why なぜ) であることを忘れず、誌面づくりに工夫することが大事であることを強調され、委員一同改めてその必要性を学びました。

改めてその必要性を学びました。

次に 8 月 7 日、佐賀県白石町議会を視察し「議会広報に関する現状と課題について」意見交換を交わした中で、議会だよりをいち早く町民の皆さんへ情報を伝達するため、定例議会終了後、翌月発行を目指して発行していること、また住民が議会広報を手に取り、見て、読んでもらうための取り組みとしては、平成 25 年 12 月号より用語解説として、4 コマ漫画を町民の方に毎回書いてもらって読者から好評を得ているとのことだった。

これも早くから議会だよりの発行に着手されている経験の技、及び担当委員各々の取り組み努力の結果であると痛感しました。

私達も創刊以来 13 号になる議会広報（議会だより）の内容充実とより早く情報伝達が可能になるよう広報委員を始め議員一同は努力をしなくてはならないとの新たな決意をし研修を終えました。



佐賀県白石町

「第 24 回町村監査委員全国研修会」に参加して

高木伸一（代表監査委員）川上國治（議会選出監査委員）

去る平成 26 年 10 月 2～3 日メルパルクホール東京に於いて全国町村監査委員協議会主催の町村監査委員全国研修会に代表監査委員、議会選出監査委員、監査事務局担当職員と 3 人で出席しました。

研修会に先立ち平成 26 年度町村監査委員功労者の表彰式があり、全国の監査委員 102 名、監査事務局職員 7 名、計 109 名（熊本県内 6 名、うち上益城郡内 3 名の中で当町高木伸一代表監査委員）が受賞しました。

来賓祝辞が総務大臣（代理政務官）、全国町村会会長、全国町村議会議長会会長の挨拶があり、その後研修会に入り、一般財団法人地域開発研究所の牧瀬稔氏が「人口減少時代の自治体経営」と題して、①日本の人口推移の予測②定住人口の獲得に向けた取組み③シティプロモーション（都市・地域の売り込み）の活発化で自治体の知名度向上、情報交流人口や交流人口そして定住人口の獲得を目指す活動又、既存住民が愛着心を持って引越していかない等々について講演があり、次に市町村アカデミー客員教授 大塚康男氏の「住民監査請求・住民訴訟の実務」と題して住民監査請求の現況や要件審査等について研修しました。



メルパルクホール東京

2 日目は、「地方自治監査実務」「公営企業会計の基礎と会計実務」と題して、自治大学校客員教授、(公社)日本水道協会経営アドバイザー 公認会計士、税理士の池田昭義氏が①監査の意義、位置付→会計上の誤謬と不正②監査の機能→近代監査→試査主義・証拠中心主義③効率的監査の仕方④公営企業会計の概要⑤改正会計基準の問題点等について研修がありました。

この研修を今後の監査業務に反映してきたいと考えております。

広域共同処理（一般廃棄物等）現地視察行なわれる

熊本中央広域事務協議会では、一部事務組合の広域化及び任意協議会の設立に向けて協議会の運営、事務移管手続及び新施設建設までの経緯等の視察研修を行った。

初日は茨城県行方市の「鉾田・行方・潮来市一般廃棄物広域処理促進協議会」で研修を行った。この協議会は平成 24 年 5 月に設立され広域的なごみ処理の現実に向けて具体的な施策や方向性を早急に検討するため 3 市の職員を派遣し新たなごみ処理施設整備に向けた検討を行っていた。協議会発足時は 3 市による一部事務組合を新規設立で考えていたが、県より「新規事務組合の設立は特段の事情が無いと認められない」との指導があったために、鹿行広域事務組合への事務移管を行う事で検討を行っていた。当初計画では広域事務組合への事務移管を平成 27 年 4 月としていたが、用地選考に遅れが生じていることから平成 28 年度以降となったため、全体スケジュールを 1 年延長することで事務を行うこととしていた。

翌日は午前中に群馬県館林市の「館林衛生施設組合」で研修を行った。平成 19 年 8 月に館林・板倉・明和ごみ処理共同事業協議会を設立され、協議会でごみ処理広域化事務を処理していたが、平成 22 年 4 月からは事業主体を館林衛生施設組合に移行していた。平成 21 年 3 月には広域共同処理に係る施設整備等を推進するための基本となる一般廃棄物処理広域化実施計画を策定しており、その計画に基づき事業が進められていた。施設建設（平成 29 年度 3 月完成予定）にあたっては、館林市に熱回収施設、板倉町にリサイクルセンター、明和町に最終処分場を建設し環境負荷の分散化が図られていた。

午後からは茨城県筑西市の筑西広域市町村圏事務組合にて研修を行った。この施設ではごみ処理施設とし尿処理施設が併設されており、又、一般廃棄物処理に関する事務を広域事務組合で運営されていた。可燃ごみ焼却施設では、余熱を最大限に有効利用するため高出力発電設備を完備しており、し尿処理施設においては高負荷脱窒素処理方式と高度処理方式によりし尿及び浄化槽を処理していた。

最後に、今後の一部事務組合の広域化へ向けては、色々と課題が山積すると思われるが、今回の視察研修を参考にし、一步一步前進していきたいと思う。



筑西広域市町村圏事務組合会議室

一部事務組合議会報告

上益城消防組合

議会報告 平成26年 第2回 定例会 (平成26年8月8日開催)

7議案が提案され、原案のとおり可決されました。

- ・一般会計決算 (歳入決算額 820,373,018円 歳出決算額 801,860,669円)
- ・一般会計補正予算 (歳入、歳出 1,645,541円)

他5件

益城・嘉島・西原環境衛生施設施設組合議会

議会報告 平成26年 第2回 定例会 (平成26年8月18日開催)

2議案が提案され、原案のとおり可決されました。

- ・一般会計決算 (歳入決算額 536,879,379円 歳出決算額 468,020,943円)
- ・一般会計補正予算 (歳入、歳出 554,940円)

御船地区衛生施設組合議会

議会報告 平成26年 第2回 定例会 (平成26年9月30日開催)

1認定議案が提案され、認定されることに決定されました。

- ・一般会計決算 (歳入決算額 186,415,285円 歳出決算額 203,036,094円)

上益城広域連合

議会報告 平成26年 第2回 定例会 (平成26年8月12日開催)

1議案が提案され、原案のとおり可決されました。

- ・一般会計決算 (歳入決算額 68,799,923円 歳出決算額 62,899,761円)



上益城消防組合消防本部・消防署庁舎新築工事 外観イメージパース

お詫びと訂正のお知らせ

議会だより (第12号) 4ページ

正 3階建屋上

誤 5階建屋上

です。すみませんでした。

尚、消防署新庁舎完成予想図 (最新版) をご覧ください。

議会活動 (平成 26 年 8 月から 9 月まで)

月 日	項 目	場 所 等
8月 3日	熊本県消防大会 (議長)	人吉市
8月 4日	主要地方道小川嘉島線道路整備促進期成会総会 (議長)	甲佐町
8月 5日	県町村議会正副議長研修会 (正副議長)	県市町村自治会館
8月 6日~7日	広報委員研修会	佐賀県白石町
8月 8日	上益城消防組合議会第 2 回定例会 (津出・宮本)	消防組合会議室
8月1 2日	第 2 回上益城広域連合議会定例会 (正副議長) 国保運営協議会 (富山・鍋田)	福祉センター 役場庁議室
8月1 8日	益城・嘉島・西原環境衛生施設組合第 2 回定例会 (木下・岡)	益城町クリーンセンター
8月1 9日	例月現金出納検査 (川上議選監査委員)	監査委員室
8月2 1日	子ども子育て会議 (議長)	役場 2 階大会議室
8月2 2日	議会運営委員会	役場庁議室
8月2 5日	市街化調整区域に係る土地利用方策勉強会 (議長) 常任委員長・議会運営委員長研修会 (正副議長・川上・木下・住田)	益城町保健福祉センター グランメッセ熊本
8月2 7日 ~2 9日	熊本中央広域事務協議会研修 (議長・木下)	群馬県館林市 茨城県筑西市
9月 2日	九州中央自動車道建設促進地方大会 (全議員)	町民会館
9月 5日~9日	第 3 回定例会	役場議会議場
9月 9日	全員協議会 議会議員人権研修会	議員控室 役場 3 階中会議室
9月1 0日	町敬老会 (正副議長)	町民会館
9月1 7日	例月現金出納検査 (川上議選監査委員)	監査委員室
9月1 8日	地域包括支援センター運営協議会 (木下)	役場 3 階中会議室
9月1 9日	第 13 号広報編集会議 (第 1 回)	監査委員室
9月2 2日	上益城郡議長定例会	嘉島町役場
9月2 5日~2 7日	建設常任委員会行政視察	広島県三原市ほか
9月2 9日	子ども子育て会議 (議長)	役場 2 階大会議室
9月3 0日	第 2 回御船地区衛生施設組合議会定例会 (本田・住田)	組合会議室

兵庫県議会議員の政務活動費の使途不明の不適切さが、TV局を始め報道機関に露呈、地方議会、地方議員とはと疑問視される等物議をかもし騒ぎになり、結果的には、地方議員（県議会、市町村議会）のあり様や、議員報酬そして政務活動費支給額にまで及んだ事態は、住民の地方議会や議員活動の姿勢まで問われることになったのは残念です。従って県議会、市議会議員にはほぼ支給される月額報酬及び政務活動費があります。が、町村議会議員については月額報酬のみが現状でほんのわずかの町村で政務調査活動費が支給されています。身近な郡内の議員報酬及び政務活動費支給状況を参考までお示し致しましたのでご参照下さい。

**今問われている地方議会、
あなたの町にあるの
政務活動費**

郡内 5 町議会議員報酬及び政務活動費支給内訳

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

町 名	人 口 (人)	議員報酬 (月額)			政務活動費 議員 1 人当り月額	議員定数 (人)
		議長	副議長	議員		
御船町	17,822	317,000	261,700	237,400	20,000	16
益城町	34,125	332,100	274,000	249,100	0	18
甲佐町	11,330	315,700	260,500	237,300	0	12
嘉島町	9,100	296,400	244,600	222,300	0	11
山都町	16,662	316,300	260,600	237,600	0	14

※政務活動費を県内 31 町村で支給されている町村は多良木町 (月額 5,000 円) と御船町の 2 町です。

「声」教育の充実を願う

六嘉 晋（上六嘉）

嘉島町が好きです。自然に恵まれ人情豊かなこの町に生まれ育ち、今住んでいることを誇りに思っています。

国をはじめ自治体も厳しい財政事情の中で、総合運動公園や町民会館など各種施設も整って来ています。

投稿を求められ、あえて私見を言わして頂くならば、今、順調に育っている子ども達の教育充実に更に心掛けて頂きたいと思います。次代を担う子ども達がたくましく育って嘉島町のため、或いは大きくはばたいて人類のために貢献出来る人間に育つよう願っております。

充実した教育推進のため学校の頑張りと、学校、保護者家庭、地域の一体となった取組が大事ですが、子ども達の生活環境も大きく変って、変化に応じた的確な対応が求められています。特に核家族化や隣り近所の疎遠化、地域での連携不足など子育て環境が大変厳しくなって来ています。そのため子育て

の環境作りが重要になって来ています。子育てに苦勞されている家庭に地域からの支援が必要だと思います。

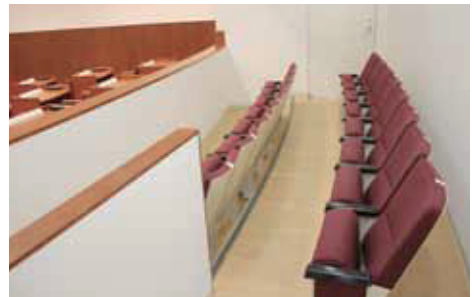
昨年から嘉島東小学校の保護者で組んでいる「読み聞かせ」に参加させて頂いています。毎月一回、朝の授業開始前二十分間、読書や紙芝居をやっています。子ども達は目を輝かせて聞いてくれます。子ども達のいきいきとした澄んだ目が好きです。たった二十分間ですが、集中して聞く事は勉強の姿勢を良くする事にも役立つと信じてやっています。

子ども達にとって、学校は楽しい場所であり喜び勇んで行ける学校であるべきと思います。子ども達が健やかに伸々と育って行くため嘉島町の教育の充実を心から願っております。



議会を見に来ませんか

- ・私たちの町はどんな未来へ向かって進んでいるのか
 - ・皆さんが選んだ議員がどんな活動をしているのか
- 見ていただくチャンスです。ぜひ、見に来てください！



傍聴席

次の議会は、**12月**に開催予定です。

【議会の当日、手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。詳しくは議会事務局へ TEL 096-237-1111 (代表)】

編集後記

「我以外皆我師」とは吉川英治の名作小説「宮本武蔵」の一節である。日本一の剣豪となり一生を終えた人生は素晴らしいと思う。私も及ばずとも多くの人から学び一歩でも前進の日々を願っています。
(津出)

日本人の健康寿命は、女性74歳、男性71歳。以前何かで知った言葉で、それは「人生かきくけこ」これは「か」感謝、「き」気配り、「く」工夫、「け」健康、「こ」好奇心の頭文字をつないだものであり、年をとつてからもいつも新鮮に生きるための秘訣が挙げてある。達者が一番。
(岡)

麦植えの時期となりました。見渡す限りの田んぼ一面に私たちの散歩や車の運転される方にも気持ちがいいですね。(河原)

今年も台風・豪雨・火山噴火など自然災害が相次いで発生しました。災害は台風以外に予知することは難しく、いつ被災するか分かりません。しかし、事前に危険箇所や避難場所等を把握する対策が災害から回避できると思っています。
(鍋田)

追跡を掲載しましたが、「一般質問をするので終わるのではなく、明確な回答、今後の方針を追求していきます。連載予定です。是非ご覧ください。」
(宮本)

発行責任者／議長 木田 勝

- 委員長 津出悦男
- 副委員長 岡 牧生
- 委員 河原 泉
- 委員 鍋田 平
- 委員 宮本睦生



再生紙を使用しています。